

評価・標準化研究会

(会長：飯倉善和 (弘前大学)、幹事：筒井健 (NTTデータ))

本研究会では、各種の衛星画像処理手法の標準化や用語の統一を行なうとともに、誰もが自分の処理手法を評価できる標準データセットの充実や評価方法の統一化・標準化に関する会員の研究を支援していきたいと考えています。紹介するポスターは、衛星画像処理の基本である幾何補正について、精度の評価方法とシステム情報を利用した幾何補正の有効性を紹介したものです。

ポスター1：第43回学術講演会 (2007.12.6-7) で掲示 (衛星画像の幾何学的な精度の評価)

ポスター2：第44回学術講演会 (2008.5.15-16) で掲示 (システム情報を利用した幾何補正)